

戦 評

平成19年度 山形県クラブバスケットボール選手権大会
兼 東北クラブバスケットボール選手権大会 山形県予選会

【男子決勝】

審判： (主審)高橋 剛 (副審)佐藤 恵一

チームA		22	-	35		チームB
川西クラブ	82	21	-	31	119	吹浦クラブ
		20	-	23		
		19	-	30		

<スタート> 川西クラブ： 高橋 手塚 兵藤 橋本 青木
吹浦クラブ： 相馬 齋藤 大井 阿部 金野

ディフェンスは川西マンツーマン、吹浦2-3ゾーン。立ち上がりから吹浦が足を活かして得点すれば川西も外からのシュートで対抗、3分11-11と互角。ここから吹浦が連続得点し11-17とするも川西も の3連続得点で6分17-17と譲らない。しかしこの後、外からのシュートが決まらない川西に対し、吹浦がディフェンス・リバウンドからの速攻や早い仕掛けのオフェンスで全員が得点し、9分19-29と一気に差を広げる。川西も時折 が得点するも、22-35で1Qを終了。

2Q立ち上がり川西 の3Pなどで27-37と追い上げるが、吹浦も や が各々連続得点し、3分27-44と逆に差を広げる。ここで川西はタイムアウトをとるが、吹浦の勢いは止まらず5分には の3Pで34-54と差を20点とする。その後双方が入れ合うが、終了間際吹浦は足を活かして連続得点し43-66と差を広げて前半終了。

後半も立ち上がりから吹浦のペース。 の得点(カウント1スロー)などで43-69と吹浦リードが続く。3分ようやく川西 、 の連続3Pで51-71と追い上げるが、吹浦は の連続得点、 の1対1などでまたも差を広げ、7分には53-83。この後川西 と吹浦 がそれぞれ連続3Pを決めるなど互いに得点して63-89で3Qを終了。

4Qの立ち上がりも吹浦の足は止まらず、 、 が連続得点、川西も時折 や の3Pで応酬するが、2分63-97、4分71-106、7分74-113と吹浦の大量リードが続く。結局吹浦はスタート全員が2ケタ得点し、82-119で試合終了。

高さでは他チームに劣り、長身のセンター・プレイヤーを擁しない吹浦であったが、粘り強いディフェンスで力のある川西オフェンス陣に対抗、また と のガード陣を中心にチーム全員が走るバスケットで相手の持ち味を封じた会心の勝利であった。吹浦クラブは初優勝。

(県クラブ連盟 本間研志)